

先輩農家の話でイメージ変化（伊豆の国市）

R5.12.21訪問



お名前	小沢 一輝さん
就農した時期	2022年1月（就農2年目）
栽培品目	いちご
栽培面積	ハウス28a（苗場・作業場含め30a）
販路	JAへ全量出荷
働き手	本人・妻（子育ての合間に） パート8名（午前のみ4名・終日4名）



■ 就農したきっかけ

山梨県出身で、大学進学を機に神奈川県へ転居しそのまま神奈川県で就職・結婚しました。以前旅行で訪れた伊豆の国市で子育てをしたいという妻の希望もあり、伊豆の国市への移住を決意しました。移住を決めた後に参加した、静岡県農業振興公社主催の「新規就農現地見学会」にて、先輩農家から農業は稼げるという話を聞き、農業に対するイメージが変わったことをきっかけに就農を目指しました。

■ 就農して苦労したこと

指導農家から紹介してもらった農地を貸借してハウスを建設したのですが、ハウス本体は10連棟で2,400万円、苗場や環境制御装置等の付帯設備も合わせると総額5,000万円以上かかりました。そのうえ、実践研修の1年と就農後の2月から12月までは収穫がなく、実質2年間は無収入だったので、その間の生活費を含めた資金繰りに一番苦労しました。

■ 今後取り組みたいこと

まずは収量を安定させるためにも、現在栽培している「紅ほっぺ」は収穫時期が集中する傾向にあるため、時期による収穫量の差が比較的小さい「きらび香」に次期作から品種変更したいと思っています。これによって収穫作業の平準化を図りたいです。

■ 新規就農を目指す方へメッセージ

施設整備と無収入期間の生活費など、自己資金（貯金）は絶対に必要だと思います。また、産地ごとに地域性があるので、自分で足を運び良く調べることが大切だと思います。私自身、初めは農業は儲からないというイメージがありましたが、就農1年目から予想以上に稼ぐことができ、農業を職業として選択する価値は十分あると思います。